

—学 会 録 事—

—会 員 移 動—
新 人 会

住 所 変 更

訃 報

本学会設立発起人 稲垣 貫一氏は去る1992年12月22日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

日本藻類学会

退 会

討論会のお知らせ

本学会の学会誌改革についてのアンケートの結果がワーキンググループによってまとめられましたので、これを受けて討論会を下記の通り開催しますので、多数の会員のご参加をお願いします。

会 長 有 賀 祐 勝

記

日時：1993年3月30日 16：25～18：25

会場：東海大学海洋学部（日本藻類学会第17回大会会場）

—日本藻類学会誌改革ワーキンググループの中間答申に関するアンケートの結果—

藻類40巻4号に掲載された日本藻類学会誌改革ワーキンググループ答申案に関するアンケートに対し67通の回答が寄せられました。その内容は以下のように要約されます。

回答者のうち86%が基本的な方針として「藻類」を現状の和文・英文の混合状態から和文誌、英文誌を独立したものとすることに賛成し、7%が反対、7%がその他と回答した。また、分割に賛成の方のうち93%が英文誌を国際的な商業的出版社との契約のもとで出版することに賛成し、明確な反対は0%であった。雑誌の体裁・年間出版回数は英文誌ではA4版(75%)、年4回(76%)、和文誌ではB5版(93%)、年2回(44%)ないし4回(49%)というのが多数意見であった。一方、和文誌に掲載する記事に関してはアンケートであげた項目のほとんどに半数以上の賛成があった。

また数人が賛成の前提条件として1) 英文誌と和文誌に出版回数、印刷レベル等で格差がつかないこと、2) 会費の値上げをしないこと、3) 国際的出版社から出版しても、また外国の藻類学会組織と共同編集・出版を行っても、出版主体は日本藻類学会であること、4) 文部省の科学研究費学術刊行助成金が得られるめどがあることを挙げている。

一方、反対意見としては以下のような内容のものがあった。

1) 日本藻類学会の現状から考えて英文と和文を分割することの負担(予算面、編集・事務能力における)が大きすぎる。2) 日本の雑誌として日本の編集スタッフで独立してできることをやるべきである。3) 全編英文とし和文の要旨をつける方がよい。4) 体裁などは現状のままでも、編集スタッフを充実し会員がよい論文を投稿するよう努力すれば充分である。

以上のアンケート結果をふまえて、ワーキンググループはさらに具体的な改革案を本年度の第17回大会までに策定する予定です。また、アンケートの集計結果、回答・コメントの具体的な内容は大会会場で掲示いたします。さらに、同大会において、学会主催の討論会「日本藻類学会誌の改革について」が開かれます。

(日本藻類学会誌改革ワーキンググループ 世話人: 石川依久子)

正 誤 表 Errata
(第40巻 第1-4号 Vol. 40 No. 1-4)

	誤 incorrect	正 correct
p. 2 Table 1 under Liagoraceae	?No	No
p. 3 Table 1 under Liagoraceae	?No	No
p. 5 Right, L. 26	Axial filaments… …or not (0).	Closely-sheathing rhizoidal filaments always absent in multiaxial taxa.
p. 39 address	高地大学	高知大学
p. 39 Right, L. 19	1990年1	1991年1
p. 43 Table 1	Stem size of	Stem size (cm) of
p. 215 Right, L. 2	pCa $5(1.0 \times 10^{-5} \text{ mol m}^{-3})$	pCa $5(1.0 \times 10^{-2} \text{ mol m}^{-3})$
L. 3	pCa $6(1.0 \times 10^{-6} \text{ mol m}^{-3})$	pCa $6(1.0 \times 10^{-3} \text{ mol m}^{-3})$
p. 273 Author name	菊池則雄	菊地則雄
No. 3 Back cover	菊池則雄	菊地則雄
p. 299 Table 5-2 Species, L. 39	<i>Geranium</i>	<i>Ceramium</i>
p. 299 Table 5-2 Remarks, L. 28	MG-AM	NG-AM
p. 302 Table 7, L. 1	two coastal waters	coastal waters
p. 308 Left L. 24	青梅	青海
p. 363 L. 1	補食	捕食
No. 4 Back cover	補食	捕食